

〈根室西浜太陽光発電事業 第3回住民説明会に関する意見書へのご回答〉

項目	ご意見・ご質問	ご回答
調査の実施状況と頻度について	2024年5月と7月以降は調査が実施されていないという説明に間違いはないか。	2024年5月と7月に加え、2025年4月から10月まで毎月鳥類のモニタリング調査を実施し調査の確実性を図っております。今後も工事中および供用後2年間モニタリング調査を行う予定でございます。
	根室の夏は遅く、秋に見頃を迎える植物もあるため、5月と7月だけの調査では不十分ではないか。なぜ秋口や春先のチェックを行わなかったのか。	ご指摘の通り、根室の気候特性から秋に開花・成長する種があることは認識しております。
	動物に関する調査は頻繁に予定されている一方で、植物調査との間に大きな差があるのはなぜか。	各調査計画については根室市様および根室市様より紹介または了承いただいた専門家のご指導・ご意見を受けながら綿密に策定したものでございます。
希少種および環境への影響について	野生植物は本来その土地に合うものが生き残っているため、提案のあった「移植」では、移植先で枯れてしまう可能性があるのではないか。	安易な移植ではなく、根室市様および専門家の指導のもとで、環境調査を専門とするコンサルタント会社にて慎重に実施いたします。また、全く別の場所に移植するものではなく、事業用地の中もしくは近隣で同一条件である箇所を選定して移植いたします。
	根室は全体に湿地が多いため、そこを掘り起こすこと自体が「ゼロカーボン」とは逆の動きになるのではないか。	湿地帯の掘削がもたらす炭素排出のリスクについても認識しております。開発による影響を最小限に抑えるよう計画してまいります。
事業へのご意見について	率直に言いますと、自然破壊してほしくないです。 動物の住み家を壊してほしくない。 根室は自然の宝庫。 根室は、そのままにしていってほしいです。 ＝反対＝	根室の自然を現状のまま残したいと願われるお気持ちを真摯に受け止めております。根室が「自然の宝庫」であることは私共も認識しており、本事業を進めるにあたっては、大規模な地形改変を避け、既存の自然環境への負荷を最小限に抑える設計をしております。 そのままにしていってほしいという切実な願いに対し、当事業が地域の自然資本を損なうものではないと思っていただけるよう、丁寧な説明を続けてまいります。
事業の姿勢・倫理観について	代表・磯井氏が事業を推進するにあたっての国家観・公共性・国益観の説明。	代表の磯井氏は、日本のエネルギー自給率の向上と、エネルギー政策への貢献こそが国益であり、次世代に対する公共の利益であると考えております。 本事業はその一助となるべく計画しております。
	上皇上皇后両陛下およびエリザベス女王の写真を資料に使用した倫理的判断基準、社内決裁、責任者の提示。	写真の選定により、皆様に不快な思いをさせてしまったことを深くお詫び申し上げます。再生可能エネルギーの国際的な重要性を示す背景として使用いたしましたが、配慮が欠けておりました。著作権等法に抵触していないことは確認済みではございますが、2026年1月9日に宮内庁に軽率な行動について謝罪させていただいたと共に今後は使用を中止し、社内決裁体制・コンプライアンス体制を強化させていただきます。
	北海道知事が掲げる「良質な投資」との整合性に関する判断根拠と財務データの提示。	北海道知事が掲げる「良質な投資」とは、地域との共生および法令遵守を前提とした環境と経済の好循環につながる事業投資と私共は認識しており、現時点では要件を全て満たしている状況ではないことは認識しております。 特に、地域との共生の観点に立ち、利益優先でなく災害時の電源開放や環境教育など地域に価値を還元する方法の継続協議や、4度目の住民説明会開催による丁寧な説明を実施してまいります。

環境・生態系への影響について	電磁波による電波障害・計器誤作動調査の実施有無とデータの提示。	電波障害については、国内でもPCS由来の不要電波が無線通信を妨害した事例が報告されており、総務省が注意喚起していることを私共も認識しております。 一方で、CISPR 11第6.2版以降相当の基準に適合したPCSを選定し、配線の遮蔽や接地、必要に応じたフィルタ等を含む適切な施工を行えば、妨害発生リスクを大きく低減できると整理されています（総務省によれば、6.2相当適合機以降の事例報告はないとのデータもございます）。 当社としては、採用機器の規格適合（試験成績書等）がCISPR 11第6.2版以降のものであることを確実に確認し、施工標準を徹底してまいります。
	植樹計画の詳細（樹種、サイズ、購入元、費用、鹿害・枯死対応、管理責任）の提示。	過去の生育データや保護事例等を踏まえ、現在詳細検討中でございます。次回住民説明会時にご説明させていただきます。
	塩害、強風、凍結・湿潤・低温による総合的劣化データの提示。	根室特有の厳しい気象条件（塩害、強風、氷雪、低温）における設備の長期信頼性については、法令やJIS規格等による設計基準に基づき、安全性を確保しております。
	パネル破損による土壌・河川・海域汚染リスクの提示。	パネルは有害物質の含有が少なく、安全性の高いものを使用し、常時監視や定期巡視によるパネル破損の早期発見に努めさせていただきます。また、建設前・中・後には、排水の水質測定を実施いたします。
	景観・観光価値低下の懸念に関する評価資料と対策の提示。	根室の美しい自然景観が地域の誇りであり、重要な観光資源であることを私共も認識しております。景観への影響を最小限に抑えるため、根室の気候に適応した樹種による植栽帯を設ける等、外部からの視線を物理的に遮蔽いたします。また、景観を「損なうもの」とするだけでなく、根室の自然と共存する再エネ施設として、学生が環境学習を行えるような価値を付加することを行政と継続協議していく予定でございます。
安全保障・サイバーリスクについて	サイバー攻撃時の原因特定・初動対応・復旧手順・警察等との連携体制の提示。	重要インフラである電力供給の安全性を確保することの重要性を私共も認識しております。 詳細は管理を委託する会社との協議中ですが、異常時は直ちにネットワークを切離することで被害拡大を防止し、別回線を使用いたします。また、発生後は警察、経済産業省、NISC（内閣官房サイバーセキュリティセンター）へ報告し、最新の攻撃情報の共有と捜査協力を受ける計画でございます。
	大停電や異常発電が発生した場合の補償範囲、保険内容、上限額の提示。	万が一、大停電や異常発電が発生した場合、まず送配電会社（北海道電力ネットワーク様）の保護装置により系統を守る動作が行われ、発電所も安全側に停止いたします。 その上で、発電所と送配電会社がログ等を用いて原因を究明し、もし発電所側の故意・過失が原因で送配電設備や第三者に損害を与えたと確認された場合には、発電量調整供給契約約款および法令に基づき賠償手続きを行います。送配電設備に損害が出た場合の賠償（修理費等）や、送配電側の免責条件は託送供給等約款に定めがございます。 さらに当社は、本事業の運営において、当社の設備に起因する事故（サイバー攻撃による異常発電、設備破損による周辺被害等）を住民の皆様に引き起こしてしまった場合等に備え、保険に加入予定でございます。具体的には第三者賠償保険にて、私共の発電設備の不備や事故によって第三者の身体や財産に損害を与えた場合、想定される最大のリスクシナリオをカバーできるよう、数十億円規模の賠償限度額を設定した保険契約を締結いたします。

	隣接するロシア軍基地を背景とした、地政学的緊張下での停電・通信障害がインフラ（医療・通信・水道・ガス等）や治安維持に与える影響評価の提示。	当事業は電力系統に接続されますが、万が一、私共の施設がサイバー攻撃や物理的破壊により停止・異常発電した場合でも、遮断機等の保護装置により瞬時に系統から切り離される設計となっております。これにより、地域の病院や水道施設等の重要インフラへ停電が波及するリスクを技術的に遮断しております。
	防衛省との協議状況、未協議の場合はその理由と予定の提示。	北海道防衛局に対し、2026年1月21日に電話にて本事業の影響を確認いたしました。その結果、法的な手続きや個別の協議は不要との回答を得ております。 事前の確認により、安全保障上の懸念がないことを公的に確認済みですが、今後も必要に応じて当局と適切に連携を図ってまいります。皆様が懸念される防衛上のリスクについても、十分に払拭されているものと認識しております。
セキュリティクリアランスに準じた安全保障審査について	国家レベルの安全保障審査（セキュリティクリアランス）に相当する審査を受けているか。 受けている場合：機関名、審査内容、審査結果。 受けていない場合：法制度、契約、企業判断等の理由および非公開項目の明示。	セキュリティ・クリアランス（適性評価）は、政府が指定する安全保障上重要な情報にアクセスする必要がある場合に、その取扱者の信頼性を確認する制度であることを私共も認識しております。 四ツ谷エナジーならびに根室西浜太陽光合同会社は、通常そのような政府指定の機微情報を取り扱う前提の事業ではないため、現時点で同制度の対象として審査を受ける法的義務はございません。 一方で、安全面の担保が不要という意味では全くございません。事業は許認可や契約上の反社排除等の枠組みの下で進めております。加えて、外為法に基づく事前届出については発電開始前に必要であることを経済産業省に確認しておりまして、しかるべきタイミングにて手続きさせていただきます。 さらに住民の皆さまの安心のため、当社として株主・役員・主要委託先の確認、調達先の管理、サイバー/物理セキュリティ対策、問い合わせ窓口の整備など、自主的な追加措置を実施いたします。
	第三者チェックが可能な国機関（経産省、内閣府、公安調査庁、警察庁、防衛省等）への照会状況。	
	外部審査・監査実績、海外資本リスクの第三者評価の有無。	
治安・地域社会への影響	太陽光部材盗難に対する警備体制（監視カメラ、巡回、警察連携）の提示。	監視カメラの設置、24時間の監視体制、定期巡回、警備会社との契約、および地元警察との連携体制を構築し、地域の治安維持に寄与する警備体制を整えさせていただきます。
	犯罪誘発リスク評価の有無と内容の提示。	全国的に太陽光発電所を狙った部材窃盗が多発している現状を認識し、私共の施設においても「適切な対策を講じない場合は犯罪誘発リスクがある」との前提に立って設計を進めております。具体的な対策として、外周フェンスの設置、アルミ製ケーブルの採択、監視カメラの設置、24時間の監視体制、定期巡回、警備会社との契約、および地元警察との連携体制を計画しております。
	多数の反対がある中で「説明会を重ねれば合意形成できる」と判断した根拠の提示。	誤解を招くような表現をしてしまい、皆様に不快な思いをさせてしまったことを深くお詫び申し上げます。私共としましては誠実な対話（住民説明会等）を通じて信頼を得る努力を継続し、合意形成に向けて真摯に取り組んでまいり所存でございます。
	国・北海道の「地域共生できない事業は行わない」方針との整合性の提示。	国および北海道が掲げる「地域共生」の方針は、再生可能エネルギー普及における最優先事項であり、私共もその重要性を深く認識しております。 利益優先でなく災害時の電源開放や環境教育など地域に価値を還元する方法の継続協議や、4度目の住民説明会開催による丁寧な説明を実施してまいります。
	滝川市の「菜の花」事例の現在における維持状況の提示。	元々ゴルフ場の運営に携わっていた地元の方を2名雇用させていただき、引き続き維持管理にあたっております。

経済性・責任・持続性	本事業の最終受益者（UBO）の明示。	最終受益者は、代表社員である磯井俊昭をはじめとする個人、およびOctpus Energy Generationであり、特定の外国政府やその影響下にある団体が関与する構造にはございません。
	使用する全種部材（パネル、架台、ケーブル等）の原産国・メーカー一覧の提示。	パネル　：中国／ベトナム、LONGi Solar（ロンジ・ソーラー） 架台　　：日本／中国、調整中 ケーブル：日本、調整中 PCS　　：中国、Sungrow
	パネルメーカー（LONGi）の最新財務状況の提示。	メーカー選定にあたっては、財務の健全性と技術力、そして人権尊重を含むESG基準を重視しております。Bloomberg Tier1評価を受けているメーカー様でございます。
	LONGiサプライチェーンの強制労働関与の有無。	メーカー選定にあたっては、財務の健全性と技術力、そして人権尊重を含むESG基準を重視しております。強制労働については、Longi社より強制労働を伴わないことを示すトレーサビリティマップとそれに対する宣誓書を受領しており、当社としても厳しく管理を行なっております。
	建設による土壌起因のCO2排出量の提示。	本事業は切土・盛土は最小限とし、現場内での土砂利用のため土壌の露出時間も最小限とさせていただきます。
	生態系異変発生時の責任主体、補償範囲、補償額の提示。	本事業の運営において、責任主体は四ツ谷エナジー合同会社でございます。また、前述のとおり当社の設備に起因する事故が発生した場合等に備え、保険に加入予定でございます。
	景観・観光価値毀損に対する補償案と、建設しなかった場合の地域価値上昇との比較評価の提示。	万が一、事業に起因する客観的な資産価値の低下や営業損失が証明された場合には、誠実に協議・補償いたします。一方、未建設時の価値上昇予測は不確定要素が多く比較は困難でございますが、本事業はインフラ整備や雇用創出、環境教育拠点の形成を通じて、将来的な地域価値の底上げに寄与するものと考えております。
	将来不要になった場合の施設の扱い（凍結、撤退、転売等）の提示。	施設が将来不要となった際は、行政と協議の上、当社責任で原状回復を行います。事業継続が困難な場合でも、地域に放置されることがないように、撤去費用の積み立てや資産管理を計画的に進めさせていただきます。また、万が一、転売や譲渡の必要が生じた際も、地域の皆様の意向や公序良俗に反することがないように、行政と協議の上、実施することをお約束いたします。
	廃業費用の市への事前預託の可否。	廃業費用につきましては、再エネ特措法に基づく外部積立に加え、自己積立を併用することで将来の確実な履行を担保いたします。資金管理の透明性に関しまして、本事業は銀行融資を受けて実施するため、各収支を専用口座にて厳格に管理いたします。廃業費用は「目的外の出金」が制限された専用枠として、金融機関の監督下で厳正に積み立ててまいりますので、何卒ご理解賜りたく存じます。
	廃棄物負担に伴う市税上昇の可能性についての見解。	事業終了後は速やかに施設を解体・撤去し、土地を原状回復することを基本方針としております。弊社にて責任を持って対応いたしますので、これに伴う市税上昇の可能性はございません。
	発電電力の全量送電可否。	原則として全量送電可能な計画ですが、系統全体の需給バランスを維持するため、電力会社からの要請による出力制御が行われる可能性はございます。

電力供給と脱炭素の実効性	出力制御の抑制量、頻度、算定根拠の提示。	根室市を含む北海道電力管内における2025年度の出力制御率は、全設備平均で1.0%未満と、全国的に極めて低い水準の見通しでございます。電力広域的運営推進機関（OCCTO）の提供データや、将来の電力需給予測、送電線網の配備計画等複合的に専門家が検証したシミュレーションに基づきます。年間平均して3%程度の抑制を見込んでおります。
	脱炭素への貢献量とその算定根拠データの提示。	CO2排出回避想定量は約457,000（tons CO2）でございます。なお算定式は、CO2排出回避想定量＝（北海道電力管内の現状の電源構成に基づくCO2排出量/kWh－太陽光発電所のライフサイクル換算のCO2排出量/kWh）×発電量×30年となります。
	中国からの部材供給停止時の対応。	万一の供給停止時には、既に確保している保守部材の活用とともに、他ルートへの迅速な切り替えを行い、建設・稼働への影響を最小限に抑えます。また、長期的なメンテナンスにおいても、特定の供給源に依存しない持続可能なサプライチェーンの構築に努めてまいります。
	資料において有利な情報のみを記載した理由。	記載内容の選定により、皆様に不快な思いをさせてしまったことを深くお詫び申し上げます。資料は事実と最新の公的データに基づき作成しておりますが、ご懸念の点については真摯に受け止め今後改善させていただきます。
累積リスク評価	サイバー、自然災害、生態系、電磁波、廃棄物、出力制御、安全保障が累積した場合の総合評価の提出。 西浜町・月岡町両事業の「累積リスク評価」は必須とする。	多岐にわたるリスクを網羅的に検討することは極めて重要であると認識しております。総合リスク管理表（マトリックス）等を次回住民説明会時にご説明させていただきます。西浜町・月岡町両事業の累積リスク評価については、他社様の内部データの詳細を当社が把握・管理する立場にないことから、現時点で当社が主体となって実施する計画はございません。当社の責任範囲は、あくまで西浜町事業が地域に与える影響を正確に評価し、万全な対策を講じることにあると考えております。
民意・住民意思について	寄せられた25,300筆を超える中止署名をどのように受け止めているか。 「利他の心」を掲げながら、住民が望まない事業を推し進めることに対する見解。	多数の反対の声、および中止署名が寄せられている事実は極めて重く受け止めております。私共の掲げる「利他の心」とは、地域の皆様の懸念に正面から向き合い、安心していただける解決策を提示し続けることにあると考えております。一方的に推し進めるのではなく、誠実な対話を通じて信頼を得る努力を継続いたします。
事業へのご意見について	環境・治安・安全保障・経済・電力供給すべての面で重大なリスクが累積的に高まると判断している。つきましては、本事業の建設は行わないことを強く要請する。	建設中止のご要請は、地域の皆様の切実な懸念の表れとして重く受け止めております。当社は適切な設計と運用により、リスクは許容範囲内に制御可能であると判断しております。今後も対話を重ね、安全性を客観的データに基づき丁寧に説明し、信頼醸成に全力を注ぐ所存でございます。
	「地域と共生」という言葉に対し、AIなどを使わず自分たちの言葉でどのような解釈か。	私共にとって「地域と共生」とは、20年・30年後の根室の子供たちと自然に「この事業があって良かった」と思っていただけのことだと考えております。
	社員紹介の写真でなぜ腕組みをしているのか。威圧的で不愉快であり、何を思ってこの写真にしたのか。	写真の選定により、皆様に不快な思いをさせてしまったことを深くお詫び申し上げます。自信と責任感を表す意図で使用いたしましたが、配慮が欠けておりました。今後は使用を中止し、社内決裁体制を強化させていただきます。
	責任者は磯井氏とのことだが、なぜ2回目の資料に名前がなく、2回目の説明会に来なかったのか。	資料への記載漏れ、および責任者の欠席により、皆様に不信感を与えましたことを深くお詫び申し上げます。資料への記載は漏れておりましたが、責任者は当初より磯井が務めております。前回は業務上のやむを得ない事情により欠席いたしましたが、今後も可能な限り責任者出席の説明会を実施させていただき、信頼回復に努めてまいります。

事業の基本姿勢・信頼性について	「資本的に関係ない」としていた一般社団法人代表理事の金子氏が、なぜ3回目の説明会資料では、根室西浜太陽光合同会社に出資として記載されているのか。	誤解を招くような表現をしまったことを深くお詫び申し上げます。資本関係にあるのは、一般社団法人根室西浜太陽光と根室西浜太陽光合同会社でございます。前回回答は、代表理事に選任されている金子氏と資本関係にないという意味でございます。
	説明会での言動の食い違いや認識のズレ、印象操作が多いと感じるが、なぜこのような状況になっているのか。	度重なる説明不足や表現の不一致により、皆様に不信感とご混乱を招きましたことを深くお詫び申し上げます。これまでは技術的・専門的な説明に偏り、皆様の懸念に寄り添った丁寧な対話が不足していたと真摯に反省しております。誠実な情報公開を通じ、一歩ずつ信頼を回復できるよう、真摯に向き合っておりまいります。
	反対の声が多い中、なぜ「時間をかければ最終的に合意に至る」と思えるのか理解できない。	「合意に至る」という予断を持って臨んでいると受け取られた点、真摯に反省いたします。私共が時間をかけたいと願うのは、単に説得するためではなく、皆様の懸念に対し一つずつ客観的なデータや対策を提示し、納得いただけるまで対話を尽くすことが事業者の責務だと考えているからでございます。
災害時の活用可能性について	蓄電池を置かないのか。PCS（パワーコンディショナ）の自立運転機能を有していないのではないのか。	蓄電池設置の予定は現状ございません。また、PCSは自立運転機能を有しておりません。
	「給電用コンセント」とあるが、売電専用のメガソーラーではなく、実際は「保守用電源」ではないのか。一般向けの非常電源として、災害時に立ち会っても実際は使えないのではないのか。	保守用電源ではございますが、発電が継続している場合には非常電源として電気主任技術者立会のもと使用いただくことは可能でございます。 一方で、実際の災害時の有用性という面においては不便が残ることも事実であるため、災害時にご活用いただける仕組みの検討を根室市様と進めさせていただきます。
合意形成と工事期間について	「一定の合意形成」の「一定」とは何を指すのか。	誤解を招くような表現をしまい、皆様に不快な思いをさせてしまったことを深くお詫び申し上げます。定性的な枕詞を意味しております。
	説明会参加者が全員反対でも、人口割合から見て半数以下であれば「一定の合意」と見なすのか。	最終的には行政判断となりますが、弊社としましては誠実な対話を通じて信頼を得る努力を継続させていただきたい所存でございます。
他案件の地元貢献策の実績について	運転開始している発電所がないようだが、他案件の地元貢献策に本当に関わっているのか。	運転開始している発電所はございませんが、他案件の記載内容は事実でございます。
	栃木市: 西方城跡の国史跡化において、具体的にどのような働きかけをしたのか。「協力した」と主張しているだけではないのか。	従来より国史跡化の計画があり、申請のための各種調査への協力や、認知度向上のためのイベント開催に対して協力させていただいた形でございます。
	伊賀市: 住民反対で着工していない中、具体的にいつ、いくら、どのようなコミュニティに資金協力したのか。	具体的には記載ができませんが、売電収入の一部を発電所が立地地区の自治会様の活動費用として支援させていただく予定でございます。
	滝川市: 「丸加菜の花太陽光」の命名は市からの要望か。 「竹中祭」は一企業のイベントであり、地元の祭りではないのではないか。 今後も協賛・継続するのか。	「丸加菜の花太陽光」の命名は地権者様の要望でございます。 「竹中祭」は一企業のイベントでございますが、地域の皆様が毎年心待ちにされているという温かいお声を多数頂戴しております。こうした地域の期待にお応えすべく、今後も協賛を通じて開催を継続し、地域活性化に貢献してまいります所存でございます。
環境・景観・教育について	景観: フェンスや植樹の種類、成長期間、秋冬の状態（落葉してパネルが見えないか）の提示。お墓側や旅館側からの視点写真がないのはなぜか。	フェンスは高さ1.5mの網状で、植樹は根室の気候に適した常緑樹（エゾアカマツ等）を検討しております。常緑樹のため秋冬も葉が落ちず、通常数年でパネルを遮蔽する高さまで成長することを期待している一方で、皆様からご意見を頂戴している通り樹木の生育についてはさらなる検討を進め、次回住民説明会時にご説明させていただきます。 特定地点からの写真欠落は配慮が欠けておりました。早急に追加のフォトモンタージュを作成し、次回住民説明会時にご説明させていただきます。皆様の生活景観を守るため、遮蔽計画の再検討も含め誠実に対応させていただきます。

	環境教育: 四ツ谷エナジー主催か、学校任せか。どのような内容を、年に何回、どの程度の期間行う予定か。	四ツ谷エナジーが主催して開催することを前提としておりますが、詳細については行政と継続協議していく予定でございます。
	脱炭素: 日本の排出量は世界全体の3.2%だが、国内でメガソーラーを増やす必要性はあるのか。海外で事業をした方が良いのではないのか。	脱炭素のみでなく、日本のエネルギー自給率の向上およびエネルギー政策への貢献が国益であり、次世代に対する公共の利益であると考えております。
技術的リスク・保守点検について	O&M受託会社について自然オペレーションズ(株)に「確定した」としているが、自然電力側は「確定していない」と言っている。なぜ認識のズレがあるのか。	表現の不一致により、皆様に不信感とご混乱を招きましたことを深くお詫び申し上げます。弊社の状況としましては保守先を複数社競合した結果、自然オペレーションズ(株)様に対し優先交渉権を発行し、現在最終契約の締結に向け協議中でございます。
	火災: 仙台の火災事例を引用しているが、消火に22時間かかった経緯や感電リスクを日没まで待った事実をなぜ記載しないのか。根室でも日没を待つのか。	太陽光発電所の火災リスクと消火の難しさは認識しております。そのため、火災が発生しづらい設計、異常を早期に検知する監視システムの構築、地元の消防署と事前に協議・共有し、万が一の防消火体制を徹底いたします。
	故障・異常: 分散型パワコンの故障リスクやコネクタ損傷への対応策、停電時の遠隔異常監視システムの動作、落雷対策はどうなっているのか。	分散型パワコンは一部故障しても全体が停止しない冗長性を備え、異常は通信回線を通じて24時間体制で遠隔監視され、迅速な復旧が可能です。コネクタの損傷や落雷に対しては、JIS規格適合品の採用や避雷針、サージ保護デバイスの設置により物理的・電氣的保護を徹底しています。万一の際も地域への影響を最小限に抑える多重の安全策を講じております。
	電磁波・反射光: 工事の騒音・振動の具体的な程度と時間帯、電磁波の影響、積雪時の反射光への対策の提示。	工事は平日8時～17時を基本とし、低騒音機の使用や防音対策を徹底し基準値を遵守いたします。電磁波は送電線や家電と同様、国際基準（ICNIRP）を十分に下回る設計で、健康への影響はございません。 積雪時の反射光は、雪が付きにくく、付着しても融雪が早い両面発電方式のパネルを採用しております。裏面の発電効果によりパネル表面の温度が上昇しやすく雪が速やかに滑り落ちるため、雪面による乱反射や眩しさを大幅に抑制することが可能でございます。最新技術の導入により、積雪期特有の視覚的影響も最小限に抑える設計となっております。
廃棄物処理について	埋め立て処理前提なら断固反対である。札幌近郊への輸送を「検討した結果」どうなったのか。「北海道コンソーシアム」に加入していない理由は何か。	私共も将来の廃棄物問題は重要課題と捉えております。現在他に選択肢がないため、札幌近郊への輸送による埋め立て処理にて処理費を計算し、費用の積立を計画しております。しかし埋め立てを前提とするのではなく、リサイクル技術を持つ事業者との連携や、北海道内のコンソーシアムへの参画も含め、環境負荷最小限に抑える廃棄・リサイクルスキームの構築を継続検討いたします。
事業へのご意見について	私たちの不安や嫌悪感を考え、本事業計画を白紙撤回してほしい。即座の撤回ができないのであれば、4度目の住民説明会を求める。	撤回を求めるご意見を重く受け止めております。現在いただいている多くの質問に対し、まずは本回答を含めた誠実な文書回答を行い、その上で次回の住民説明会を開催させていただきます。